

Molhos Marutti para cada receita, um molho especial. MARUITI www.marutti.com.br

伊方原発3号機が再稼働

地震や避難計画に不安も 四国電、新基準5基目

【共同】四国電力は12日、伊方原発3号機（愛媛県伊方町、出力89万キロワット）を再稼働させた。東京電力福島第1原発事故を踏まえ策定された原子力規制委員会の新規制基準に適合した原発としては九州電力川内1、2号機（鹿児島県）、関西電力高浜3、4号機（福井県）に次ぎ5基目。高浜が司法判断で運転差し止め中のため稼働原発は3基となる。



伊方原発3号機の中央制御室で、再稼働のための操作をする四国電力の社員＝12日午前9時ごろ、愛媛県伊方町（代表撮影）

川内1号機の再稼働から1年たち政府は原発活用を加速させたい考えだが、伊方原発近くには長大な活断層「中央構造線」断層帯が通り、熊本地震を誘発している。伊方原発は細長い佐田岬半島の付け根にあり、南海トラフ巨大地震対策が十分でない指摘もある。中央構造線断層帯の活発化を危ぶむ住民らが、伊方原発の再稼働に反対している。伊方原発は細長い佐田岬半島の付け根にあり、南海トラフ巨大地震対策が十分でない指摘もある。中央構造線断層帯の活発化を危ぶむ住民らが、伊方原発の再稼働に反対している。

稲田氏、靖国参拝見送り

13日からジブチ訪問

【共同】稲田朋美防衛相は12日、終戦記念日の8月15日の靖国神社参拝を固めた。13日、16日の日程で、海賊対処活動のため自衛隊を派遣しているジブチを訪問する。極東国際軍事裁判（東京裁判）のA級戦犯が合祀されている靖国神社をめぐり、参拝に反対する韓国が反発していることを考慮し、自衛隊参拝を自衛隊員のみで行う見通しだ。首相は、9月初旬に中国で開かれる20カ国・地域（G20）首脳会議に合せて習近平国家主席との会談を調整している。この会談に自衛隊の参拝があるかどうかは判断していない。第2次安倍政権発足後の2013年以降と同様の対応となる。稲田氏はこれまで終戦記念日の靖国参拝について、明言を避けてきたが、12日の航空自衛隊小松基地（石川県小松市）視察後には「安倍内閣の一員として適切に判断していきたい」と記者団に強調した。ジブチ訪問には「非常に困難な任務に携わっており、まさしく第一線だ。その様子を視察する」と述べた。

タイのリゾートで連続爆発

4人死亡、35人負傷

【バンコク共同】タイ警察によると、リゾート地プーケット、南部スラタキなど5地域で11日、12日にかけて爆発が相次ぎ、計4人が死亡、35人が負傷した。警察は過激派組織「イスラム国」（IS）など国際テロ組織による犯行の可能性を否定する一方、内政問題を背景とする同一グループの犯行とみて捜査している。国家警察報道官は12日の記者会見で「国内に混乱をもたらしたい勢力の犯行だ」と指摘。犯行に関与した疑いで既に複数の身柄を拘束したといいい、全容解明に向け捜査を進める。在タイ日本大使館によると、いずれの爆発でも日本人が被害に遭ったとの情報は入っていない。警察と保健省によると、プーケットの繁華街で起きた爆発ではタイ人女性2人が死亡、欧米の外国人を含む24人が負傷した。12日朝には、スラタキ県の警察署前で爆弾が爆発し1人が死亡、3人が負傷した。観光客に人気のプーケットのビーチ近くでも爆弾が爆発しタイ人1人が軽いけがをした。11日には南部トラン県でも爆発があり、1人が死亡、7人が負傷した。南部パンガニー県でも12日に爆発があったが、けが人はいなかった。警察によると、プーケットでの最初の爆発は繁華街のバー近くで発生。約30分後、別のバー付近で2度目の爆発が起きた。警察は現場から爆発物を押収した。植木鉢に爆弾が仕掛けられ、携帯電話で遠隔操作し爆発させた形跡があるという。死亡したうちの1人は屋台の女性従業員だった。バンコクの南西約200キロに位置するプーケットはタイ王室ゆかりの地として知られ、日本人を含む多くの外国人観光客が訪れる。プーケットは2014年のクーデター後に発足した軍事政権は7日、民政復帰後も軍の政治介入を認める新憲法草案の是非を巡り国民投票を実施。賛成多数で承認されたが、タクシン元首相派など反軍政勢力が反発し治安の悪化を懸念する声が出ている。



正座して応援団に感謝するラファエラ (Foto: Roberto Castro/Brasi 12016)

日本の「勝利」でもあ... 町の子どもが凶暴な麻薬密売人になる姿を描いた。2年前のW杯直前に公明された彼の弟子監督が作った映画「Gran de Vitoria」は貧困・非行から柔道で立ち直った主人公の物語。開会式から始まり、今回の金メダル獲得劇はどこか『CD』の縮図を見ている趣がある。ラファエラは幼いころからケンカ早い乱暴者として知られ、社会適応させる意味で柔道NGOに入った。その出会いがなければ、『CD』に登場する犯罪集団の一味になっていたもおかしな環境で育つ。だが柔道の素質を見出され、ロンドン五輪で2回戦敗退。その時「このサル野郎」「お前、この居場所を奪う上じやないか」という言葉が、根付かせる決定機を地元は、金ではなく、そのよ... 逆境を乗り越える精神的なバネとそれを力づける哲学だ。そこに日本移民が伝えた柔道が望の星」と思っ後姿を追う。どれだけの子どもが柔道で救われるか。意図せず彼女が、日本哲学をさらにブラジルに根付かせる決定機を地元は、金ではなく、そのよ... ラファエラの金メダルは日本の勝利でもある

25ª EXPOAFLORED ARUJÁ 2016 dias 20, 21, 27 e 28 de agosto dias 3 e 4 de setembro horário de funcionamento 8h30 às 18h 25 anos, os melhores momentos. Venda de Flores, Comidas Típicas, Atrações Japonesas. Patrocínio: SAKATA, Sakura, ISAFLORED, sansuy, ecovaso, YOSHIDA & HIRATA, Kijiro, SENAR, FAPSP, Rurai, CCR NovaDutra, Apoio: ARUJÁ. Como chegar: 25ª EXPOAFLORED ARUJÁ 2016. Local: Av. PL. do Brasil, Km 4,5 - Fazenda Velha - Arujá/SP - Tel.: (11) 4655.3006 e (11) 4655.4227 www.expoaflord.com.br

こくさいは にほんじん ぶつせり こうざ
国際派日本人養成講座
 伊勢雅臣

2000年1月30日版

チベット・ホロコースト50年(上)
アデの悲しみ

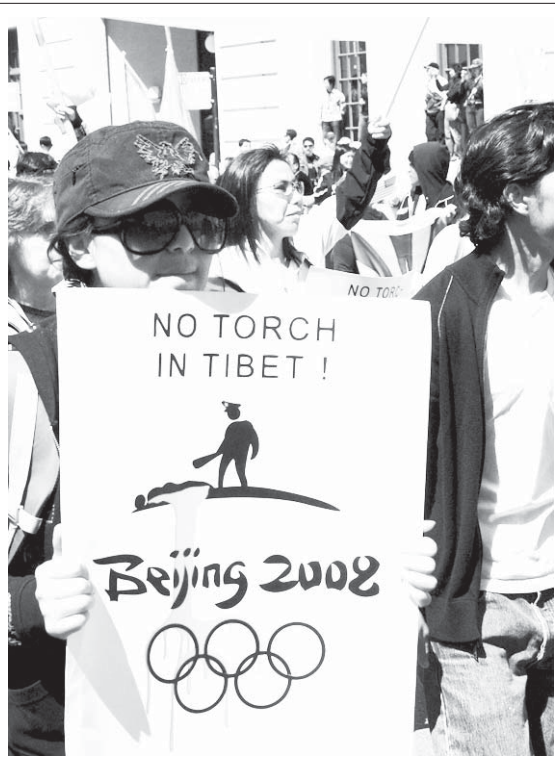
毛沢東の共産党軍は、日本の6.5倍もの広さを持つチベット全土を蹂躪し、山林を乱伐し、核廃棄物の捨て場とした。600万人のチベット人のうち、120万人の生命を奪い、さらに産児制限や中絶・不妊手術の強制を行った。今日では750万人もの中国人が移住した結果、チベット人はチベット本土でも少数民族にされてしまった。

1. 「花の土地」に生まれたアデ

アデは1932年、チベット東部、中国との国境に近いカム地方メトク・ユル(花の土地)にタポツアン家の末娘として生まれた。

いまでも目を閉じれば、子どもの頃の日々が鮮やかによみがえる。はてしなく広がる空の下、花でいっぱい野原を笑いながら走ったり、駆け回ったりしていた日々。「1, p24」

遊び疲れた遅い午後には、父のひざの上に座るのが大好きだった。父はよくカワロティ山脈の峰のほうを見つめていた。この山々の姿を見ると、父はしばしば乾杯のために杯をささげ、歌うのだった。父はカワロティ(万年雪)とは、ヒマラヤの神で山の中に住み、私達が立っている



北京オリンピック開催時の抗議デモ (wikipediacommons)

しかし、実際にやってきたのは、もっと恐ろしい毛沢東の共産党軍だった。彼等は、日本の6.5倍もの広さを持つチベット全土を蹂躪し、山林を乱伐し、核廃棄物の捨て場とした。600万人のチベット人のうち、120万人の生命を奪い、さらに産児制限や中絶・不妊手術の強制を行った。今日では750万人もの中国人が移住した結果、チベット人はチ

3. チベットから帝国主義侵略勢力を追放する

4. 夫の急死

1955年春、アデに長男チミ・ワンギャルが

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらえよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。(ニッケイ新聞編集部)

1951年の始めに、ダライ・ラマ14世は、中国政府の要求により、チベット代表団を北京に送った。この時、ダライ・ラマは弱冠16歳だったが、租税徴収の公正化を実現して国民を喜ばせるなど、意欲的な統治者ぶりを発揮し始めていた。しかし平和な宗教国家として、わずか8500人の国境警備隊しか持たないチベットは、中国の軍事圧力に屈するしかなかった。

生まれた。しかし、この時には、夫サンドウ・パチエンは、アデの兄たちや、姉の夫ベマ・ギャルツェンとともに、中共軍と戦う決意を固めていた。ダライ・ラマは弱冠16歳だったが、租税徴収の公正化を実現して国民を喜ばせるなど、意欲的な統治者ぶりを発揮し始めていた。しかし平和な宗教国家として、わずか8500人の国境警備隊しか持たないチベットは、中国の軍事圧力に屈するしかなかった。

6. アデの逮捕

各地の抵抗組織は、中共軍の駐屯地を攻撃し、多大の損害を与えた。しかし中共軍は、飛行機による爆撃や、数万人規模の兵力を投入して反撃した。チベット亡命政府の発表では、戦闘による犠牲者は43万人に上るとされている。「3, p102」

2. 中国人は我々からすべてを奪い去るつもりだ

1948年の晩春、16歳になっていたアデは、3歳年上のサンドウ・パチエンと結婚した。やさしく思いやりのある夫とその母親にアデは暖かく迎えられた。

私たちは、みなさんが一般の人々の生活を向上し、過去の過ちを正して、真の人民による政府を築き上げるのを助けるために来ました。「1, p71」

5. 「民主改革」始まる

56年春にはカンゼ地区での「民主改革」が始まった。僧院の所有地が没収され、僧たちは農耕を強制された。耕作はミミズや虫などは許さず、小さな生き物の命を奪うために、僧たちは許さず殺さなければならない。このチベット仏教の教えを否定するため、僧たちは蠅や鳥などを殺すノルマを与えられた。

1959年晩冬の日だった。この日からアデは各地の収容所を転々とし、強制労働に耐えつつ、持ち前の強い気力で餓死や病死をまぬがれた。釈放されたのは、26年後、1985年のチベット正月であった。

やがて占領軍は、貧しい子どもたちのために小学校を作り、中国共産党の講師たちが教え始めた。チベット人は彼等の偉大なる母国中国の少数民族であり、はるかに卓越した中国文化を学ぶべきだと教えた。

アデの父親は、地域の有力者として選ばれ、派遣団の一員として、中国視察に送られた。彼はそこで国民党員の囚人をあふれるほど載せて処刑場に向かうトラックを見て、中国共産党の正体を知った。

第二に、チベットが中国の一部であるという主張も、強引に史実をねじ曲げたものだった。チベットは、史実の伝わる1300年以上の歴史を通じて、かつて漢民族によって支配されたことはない。元と清の皇帝はラマ教(チベット仏教)に帰依し、チベットの宗室の立場にあったが、前者はモンゴル民族であり、後者は漢民族であった。漢民族はそれらの帝国の植民地の一部であったにすぎない。「2, p260」

7. 我々は、お前を一生苦しめたいのだ

アデに仲間の名前を白状させようと、中国兵たちは拷問を続けた。両手を頭の上にあげて、二つの鋭い三角形の木の上にひさまづくよう強要された。腕を下げると、ライフルの柄をひじをなぐられた。またある時は、極細の竹棒を人差し指の爪の間に、第一関節まで少しづつ突き刺さっていた。

劉文輝將軍とは、1920年代に四川省のほとんどを制した軍閥で、チベットの国境地域を侵略し、残虐な行いでチベット人から恐れられていた存在だった。

アデの父親は、信賴できる友人を訪ねては、中国人は我々からすべてを奪い去るつもりだ、と語った。中共軍は父に「再教育を受けるように」と命じた。帰国時から健康のすぐれなかった父は、その時すでに病床に伏しており、中国兵に病院に連れて行かれた。

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

アデに仲間の名前を白状させようと、中国兵たちは拷問を続けた。両手を頭の上にあげて、二つの鋭い三角形の木の上にひさまづくよう強要された。腕を下げると、ライフルの柄をひじをなぐられた。またある時は、極細の竹棒を人差し指の爪の間に、第一関節まで少しづつ突き刺さっていた。

しかし、実際にやってきたのは、もっと恐ろしい毛沢東の共産党軍だった。彼等は、日本の6.5倍もの広さを持つチベット全土を蹂躪し、山林を乱伐し、核廃棄物の捨て場とした。600万人のチベット人のうち、120万人の生命を奪い、さらに産児制限や中絶・不妊手術の強制を行った。今日では750万人もの中国人が移住した結果、チベット人はチ

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

協定の第2条は「チベットの地方政府は、人民解放軍がチベットに入って国防を強化するのを積極的に助けること」、第8条はチベット軍を中共軍に併合する事を規定し、第14条は、外交上のあらゆる権限をチベットから剥奪していた。

世界が称賛する日本人が知らない日本
 JAPAN ON THE GLOBE
 伊勢雅臣
 クール・ジャパンの決定版!
 4万5千人が愛読するメルマガ「国際派日本人養成講座」
 編集部にて限定販売中 (120レアル)
 著者・伊勢雅臣さん

国際派日本人養成講座
 発行人=伊勢雅臣 (文責)
 Mail: ise.masaomi@gmail.com
 Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/



8月12日版



『日本人のための憲法原論』小室直樹著、集英社インターナショナル(2006/3)

国家における権威喪失と危機

社会に必要な「権威」とは

ある読者から、「なぜ日本はここまでボロボロになったのでしょうか」という質問をいただきました。

私なりの考えを書かせていただきます。

▼社会には、「権威」が必要

まず、基本的な話として、社会には「権威」が必要で、小室直樹先生によれば、「何が正しいか、何が正しくないかを定める存在」。

世界を見渡すと、大抵しばしば「宗教」が「権威」の役割を果たしています。

たとえばユダヤ教の神様は「モーセに『十戒』を与え、これを守らなければぞろぞろ」というルールを示しました。

キリスト教では、イエスが、生き方の規範を示しました。

カトリックには、ローマ法王の権威を否定して、神様、イエスの代理者としての務めをされています。

それで、カトリック教会で、ローマ法王は大変な権威ですね。

プロテスタントは、ローマ法王の権威を否定し、自分自身が直接神様、イエス様につながる

▼権威を否定された国では...

社会には権威が必要。しかし、その権威がなくなると、社会は混乱する。権威を否定された国では、社会は混乱する。権威を否定された国では、社会は混乱する。

「権威」は、社会の秩序を維持するために必要である。権威を否定すると、社会は混乱し、国家は弱体化する。

日本は、戦後、権威を否定し、民主主義を推進したが、その結果、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼なぜ日本はボロボロになったのか？

ある人は、「金儲け教徒」になりました。あるいは、「欧州人道主義教徒」になった人もいます。

しかし、「全ロシア的権威」は現れず、混乱が収まる見込みはありません。

▼日本、権威の変遷

江戸時代、日本国民は、「將軍様と幕府は天地のごとき存在である」と考えていました。それで、日本は、世界

▼権威を否定された日本は...

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼小説の発禁処分「つらい」

石川達三の未公開書簡発見

「共同」秋田県出身の小説家石川達三(1905-1985)が戦時中、雑誌「中央公論」の編集者として未公開の書簡17通が見つかり、秋田県立大の高橋秀晴教授(59)が9日、発表した。

日中戦争時の日本兵による略奪や女性殺害などを描いた小説「生きていく兵隊」が発禁処分となっていたことが明らかになった。

石川は、従軍記者として中国戦線に派遣された。書簡は、中央公論の編集者としての石川と、共同の兵隊を基に「生きていく兵隊」を発表。反軍的な内容として即日、発禁処分となり、自身も有罪判決を受けた。38年8月には、軍が再び従軍を許可すると見通しを示し、「一軍はこれ

▼「ボロボロになった覇権国家」

北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼「ボロボロになった覇権国家」

北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼権威を否定された国では...

社会には権威が必要。しかし、その権威がなくなると、社会は混乱する。権威を否定された国では、社会は混乱する。

「権威」は、社会の秩序を維持するために必要である。権威を否定すると、社会は混乱し、国家は弱体化する。

日本は、戦後、権威を否定し、民主主義を推進したが、その結果、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼なぜ日本はボロボロになったのか？

ある人は、「金儲け教徒」になりました。あるいは、「欧州人道主義教徒」になった人もいます。

しかし、「全ロシア的権威」は現れず、混乱が収まる見込みはありません。

▼日本、権威の変遷

江戸時代、日本国民は、「將軍様と幕府は天地のごとき存在である」と考えていました。それで、日本は、世界

▼権威を否定された日本は...

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼小説の発禁処分「つらい」

石川達三の未公開書簡発見

「共同」秋田県出身の小説家石川達三(1905-1985)が戦時中、雑誌「中央公論」の編集者として未公開の書簡17通が見つかり、秋田県立大の高橋秀晴教授(59)が9日、発表した。

日中戦争時の日本兵による略奪や女性殺害などを描いた小説「生きていく兵隊」が発禁処分となっていたことが明らかになった。

石川は、従軍記者として中国戦線に派遣された。書簡は、中央公論の編集者としての石川と、共同の兵隊を基に「生きていく兵隊」を発表。反軍的な内容として即日、発禁処分となり、自身も有罪判決を受けた。38年8月には、軍が再び従軍を許可すると見通しを示し、「一軍はこれ

▼「ボロボロになった覇権国家」

北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼小説の発禁処分「つらい」

石川達三の未公開書簡発見

「共同」秋田県出身の小説家石川達三(1905-1985)が戦時中、雑誌「中央公論」の編集者として未公開の書簡17通が見つかり、秋田県立大の高橋秀晴教授(59)が9日、発表した。

日中戦争時の日本兵による略奪や女性殺害などを描いた小説「生きていく兵隊」が発禁処分となっていたことが明らかになった。

石川は、従軍記者として中国戦線に派遣された。書簡は、中央公論の編集者としての石川と、共同の兵隊を基に「生きていく兵隊」を発表。反軍的な内容として即日、発禁処分となり、自身も有罪判決を受けた。38年8月には、軍が再び従軍を許可すると見通しを示し、「一軍はこれ

▼「ボロボロになった覇権国家」

北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

▼「ボロボロになった覇権国家」

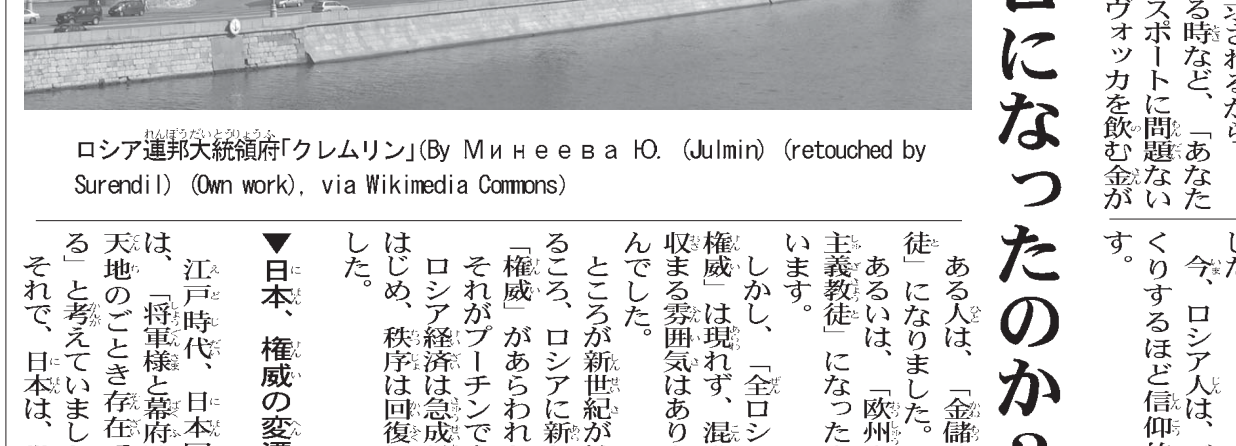
北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

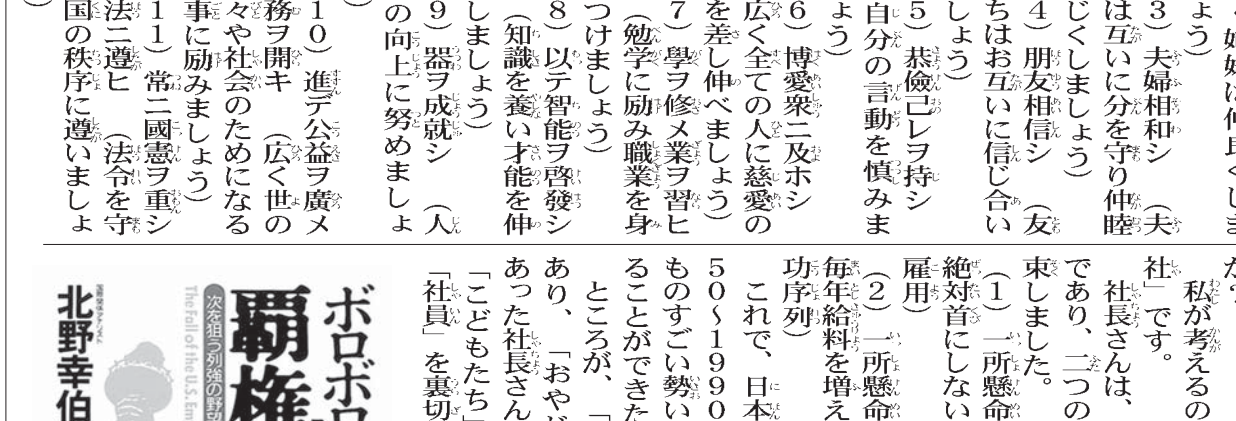
権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。



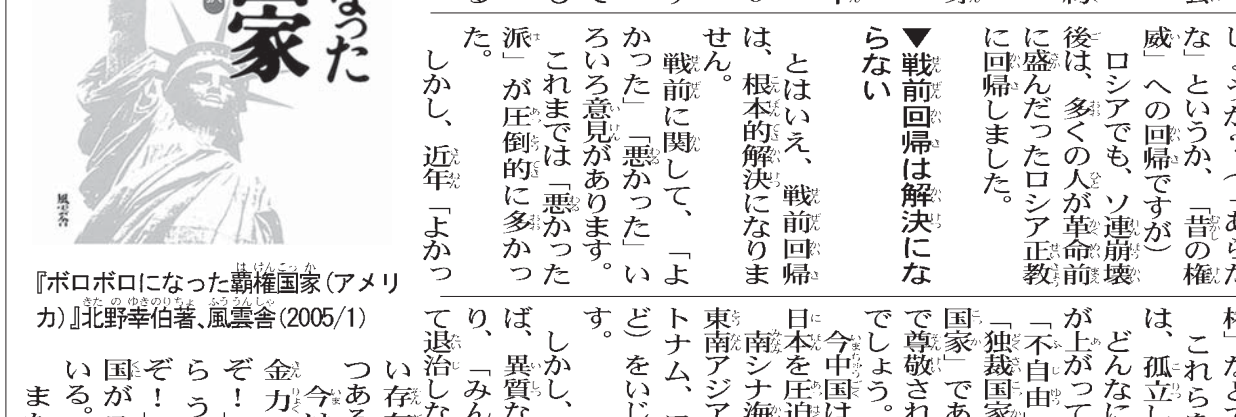
ロシア連邦大統領府「クレムリン」(By Минеева Ю. (Julmin) (retouched by Surendil) (Own work), via Wikimedia Commons)



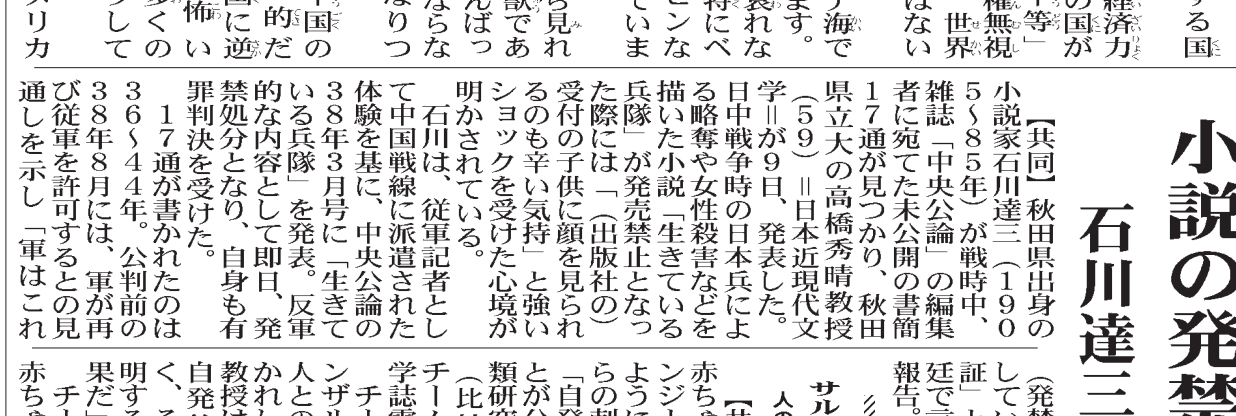
日本皇居「皇居」(By 皇居 皇居 皇居 (Own work), via Wikimedia Commons)



『ボロボロになった覇権国家(アメリカ)』北野幸伯著、風雲舎(2005/1)



サル赤ちゃんも睡眠中微笑



サル赤ちゃんも睡眠中微笑



サル赤ちゃんも睡眠中微笑

▼「ボロボロになった覇権国家」

北野幸伯

長い不況に耐えかねた義勇公二奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ國に危機が迫つたなら、その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。その傾向に火をつけた。

権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。権威を否定された日本は、社会の秩序が失われ、国家の力が弱体化した。

メールマガジン
「ロシア政治経済ジャーナル」
発行 北野幸伯
Copyright (C) RPE Journal All Rights Reserved. 358
アドレス変更・解除は
http://www.mag2.com/m/000012950.html



日本の情報・戦略を考える

アメリカ通信



8月9日版

尖閣で日本がとるべき戦術を

「孫子」的にクリエティブに考えてみた

東シナ海の尖閣沖で、中国が日本に大きなプレッシャーを与えてきていることは、みなさんもすでにご存知だと思います。この「孫子」的に考えてみることにしよう。

日、東シナ海の尖閣諸島（中国名：釣魚島）の接続水域で中国の漁船約230隻と海警の船6隻を確認し、中国側に抗議したと発表した。

これほどの多くの中国漁船が同接続水域に入るのは異例。海警局の船のうち、3隻は武装しているという。

外務省のアジア大洋州局長は同日午前、在日中国大使館の公使に対し、

「尖閣周辺に約230隻の中国漁船、武装した海警船も」http://goo.gl/Hx1gSt (2016年8月6日 17:34 JST)

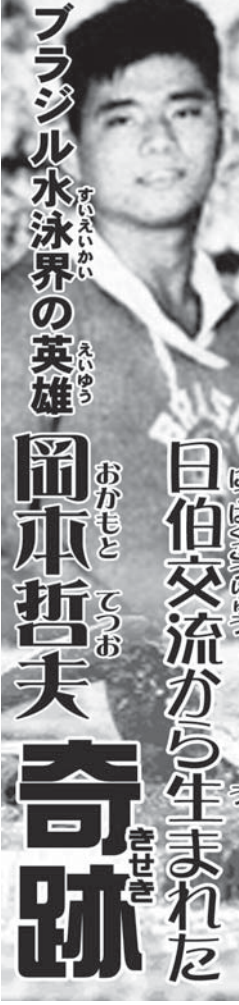
「東京 6日 ロイター」 - 外務省は6日、

領海内に入らず、接続水域からも退去するよう求めた。さらに、一方的に緊張を高める行為だとし、強く抗議した。

これについて、軍事的に対決姿勢を徹底的に見せるというのだから、一緒に酒を飲み交わすまで（？）日本側にとっては様々なオプシオンがあるという意見があるでしょう。

しかし、現実的に考えてみると、日本政府ができることといえば、残念ながら「外交チャンネルを通じて抗議する」ということくらいでしょうか。

実際上の記事でもわかるように、日本政府はとりえず抗議はしているみたいですが、本気で尖閣をとりかかっている様子には、これもほとんど意味をなさないのでしよ



日伯交流から生まれた

ブラジル水泳界の英雄 岡本哲夫 奇跡

パカエンブーのブルに日章旗掲揚を許可した聖州体育局長は、戦争中に日本人ブルの使用を特別に許可した時と同じ「バジリヤ氏」だった。パウルスタ新聞1950年3月28日付には、バジリヤ局長のコメントが掲載され、「この大会に外国選手が参加するということはかつてなかった。この例を破つたこと、そのものに我々は非常に喜びを感じている。我が国が持つ日本及び日本人への深い友情の表れがこうした例外を作られたと言っても良く、スポーツを通じての友情を永久に続けていきたい」と記されている。

1950年3月28日、付パウルスタ新聞によれば、マリリア市に本部があった全伯青年連盟は、古橋ら一行が来たことで、敗戦が明らかになることを恐れ、「大会当日、右連盟会員で入場した者には解平として除名処分にする」といった態度を取ったり、競技当日に弁論大会を企画するなど、極力大会が水泳選手たちに接する機会を奪うことに務めたと言われ、同地一般に憤りを覚えている。さらに同50年11月、

影の功労者、バジリヤ局長

月、マリリア市警察は、勝ち組を騙して帰国費用を巻き上げる詐欺団「国民前衛隊」一味50人を逮捕した。その指導者・山岸宏伯は「5・15事件の山岸中尉」を名乗るなど、純粋な勝ち組農民をだます詐欺だった。同

かくして私は、尖閣事件については非常に悲観的でありまして、専守防御で軍事的脅しの裏付けも低い日本が、このように「サラミスライス」的に既成事実を積み上げてくる中国側の動きを抑止することは無理だろうと見ています。

ただし絶対に行われないうるが、ひとつだけ中国側にとって強力な抑止効果となる可能性のあることを想像しないわけでもありません。

それは「相手と同じことをすること」です。

「テラード抑止」という言葉があります。これは冷戦中にアメリカの国防関係者や戦略家の間で発展させられた抑止（Deterrence）の考え方を踏まえて出てきたものです。

もちろんアメリカにとっても、冷戦中の最大の敵は「ソ連」という超大国。そして相手は核武装をしているわけですが、こちらにも核兵器を持つていたので、お互いに牽制しあうことで戦争を防ぐ、という考え方が「核抑止」(Mutual Deterrence)の土台になってました。

ところがソ連が崩壊して冷戦終了。そうすると、いままでソ連というドラゴン並の大きな敵を牽制するためにもついていた大量の核兵器が無駄になり、今度はテロリストや「ならず者国家」など、いわばへびのような小規模な敵に

対して抑止をすることをアメリカの国防関係者たちは考え始めました。そこで出てきたのが、コリン・グレイと共にシロクタンクをつくるなど活躍していたキース・ペインという、これまた核戦略の専門家をつけた「テラード抑止」(Terror Deterrence)という考え方です。

「なんだか専門的な言葉だな・・・」とお感じの方もいらっしゃると思いますが、そのアイデアは意外に簡単に、具体的にどうということ、個別の敵に適合させて（仕立てる、テラードする）、こちら側がどのような手段で抑止して行くのかを決めていく、というところなのです。

もちろん相手は「ソ連」というたつた一つの相手ではなく、アメリカに危害を及ぼしてくる可能性のある多種多様な潜在的な敵なので、そもそも彼らは何を以てしようとしているのか、その意図を知らなければなりません。

「テラード抑止」という考え方は、孫子でいう「敵を知り」を徹底して行い、相手のいやがる手段を研究して、それに合わせてこちらも対抗手段を考えて牽制しよう、という考え方なのです。

さて、これを現在の尖閣周辺に大量の船をよこしている中国に当てはめて考えた場合はどうなるでしょうか？

ひとつの案ですが、「いやいや、そんなの無理ですよ、日本にはできませんよ」というのはごもっともでしょう。

ただしみなさんに戦略的に考えていただきたいのは、ただたんに抗議をするだけでなく、戦線を拡大したり、あえて相手のいやがることを想像力や働きかけて考える、ということなのではないでしょうか？

戦略に特効薬はありません。ただし柔軟な考えで様々なオプシオンを考えておくというの、いまの尖閣事件に直面する日本政府には必要なのではないでしょうか？ (おくやま)



尖閣問題の発端となった東シナ海ガス田の位置と日中間線。日本名：春曉は「白樺」、断橋は「橋」、冷泉は「桔梗」、天外天は「櫻」、龍井は「壺」(By Goldenseasun (Own work) [Public domain], via Wikimedia Commons)



戦後初の日の丸掲揚を讀んだ記事(パウルスタ新聞1950年3月28日付)

「観善の聖手」
今、水上大会おわる
悦びのバチリア体育局長

水上日本の血
よくやつた

「観善の聖手」
今、水上大会おわる
悦びのバチリア体育局長

水上日本の血
よくやつた

日本の情報・戦略を考えるアメリカ通信
http://www.realist.jp

▼「奥山真司のアメ通LIVE」
http://www.realist.jp/goiken.html

▼YouTube THE STANDARD JOURNAL
https://www.youtube.com/user/TheStandardJournal

▼「THE STANDARD JOURNAL」～アメリカ通信～
http://ch.nicovideo.jp/strategy

▼Facebook Page: 「THE STANDARD JOURNAL」
https://www.facebook.com/realist.jp

★奥山真司への講演依頼・執筆依頼は
[webmaster@realist.jp]までお問合せ下さい。

プロポリス専門店
プロポリス有名ブランド各種
・アガリクス・健康食品全般

ムラサン健康食品

MURA-SAN COMERCIO LTDA.
Rua Galvão Bueno, 364 - Box 03
CEP 01506-000 - Liberdade - São Paulo - SP
Tel/Fax: (11) 3207-4490 - E-mail: murasankenko@uol.com.br
(日本への発送もしておりますので、ご利用下さい)

kenko hirose
健康食品

プロポリス・アガリクス専門店
日本への発送もしております。

Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(パロン・デ・イグアッペ街とガルボン・フェノ街の角)
Tel.: (11) 3271-5608 - Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

PERFUMARIA TAKEO
たけお店
化粧品専門

二九四一・九三三

病氣平癒・健康祈願
南米神宮

R. Estado de Israel, 76
Vl. Clementino - S. Paulo - SP
Fone: (11) 5575-4783
www.templexointoista.org.br

補聴器専門店 リベルターテ
ORIENT AUDIO APARELHOS AUDITIVOS

聞こえるって、幸せ！
補聴器で始める
もっと楽しい生活

気軽に電話下さい (山本パトリシア)
CRFa Z - 16125
Tel.: (11) 3340-9190
contato@orientaudio.com.br

Rua Galvão Bueno, 412 cj.29 Liberdade
Próximo ao Nikkey Palace Hotel

CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA

寝ちがいが、
首・肩・腕の痛み、
腰痛、ギックリ腰、
坐骨神経痛は

和泉哲博 法で

SADAKAZU NAKATA PhD
CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE

Admite-se estagiário(a)
研修生募集中 (男女)

TEL: (11) 5571-4113
(11) 5083-6756
Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061
Vila Mariana - São Paulo - SP

納骨仏壇分譲のご案内

この度、新館大鑑閣内に納骨仏壇を新たに設置いたし皆様方に分譲しています。

寸法は32センチx30センチx50センチ(奥行き)です。詳細につきましては曹洞宗佛心寺までお問い合わせ下さい。

曹洞宗両大本山南米別院佛心寺
Rua São Joaquim, 285 - Liberdade - São Paulo - SP
Tel: (11) 3208-4515 / 3208-4345

Imperador

Imperador do Japão dá a entender que deseja abdicar

O imperador Akihito do Japão disse que seu condicionamento físico tem piorado e afirmou que isso o preocupa, porque pode vir a dificultar a execução de deveres que ele tem como símbolo do Estado. Uma mensagem de vídeo de 10 minutos do imperador Akihito, que tem 82 anos, foi transmitida para o público na segunda-feira. Na gravação, ele dá a entender que deseja abdicar do trono. O imperador Akihito lembrou que não pode traçar comentários a respeito do atual sistema imperial, mas falou que gostaria de se expressar como um indivíduo. Segundo o imperador Akihito, como a sociedade está envelhecendo rapidamente, ele queria falar sobre o que seria um papel desejável de um imperador quando o próprio também passa a ter uma idade avançada. O imperador Akihito disse que não é possível continuar a sempre diminuir a quantidade de ações em relação ao país e deveres de um imperador como símbo-

lo do Estado. De acordo com o imperador Akihito, um regente poderia agir em seu nome. Mas afirmou que isso não mudaria o fato de que um imperador continua a ocupar o título até o final de sua vida. Ele disse se preocupar que, caso adoça, por exemplo, a sociedade fique paralisada e que vidas de japoneses sejam afetadas de diversas maneiras. O imperador Akihito afirmou que talvez fique difícil para ele cumprir deveres como símbolo do Estado porque seu condicionamento físico tem piorado gradativamente. O imperador Akihito também disse ter esperanças de que a família imperial continue a ficar do lado do povo japonês em todos os momentos, e que possa trabalhar junto com as pessoas para construir o futuro do Japão. Por último, o imperador Akihito disse torcer para que os deveres do imperador como símbolo do Estado possam continuar de maneira firme e sem pausas.

Egito

Evento no Egito discute paz na data da explosão atômica em Hiroshima

No Egito, um grupo rezou pela paz no dia 6 de agosto, data em que o Japão lembra a explosão atômica em Hiroshima, que completou 71 anos. Uma cerimônia foi realizada na Universidade Misr de Ciência e Tecnologia, que planeja assinar uma parceria com a Universidade de Hiroshima. As duas instituições pretendem lançar programas de intercâmbio de estudantes e de pesquisa conjunta. Cerca de 200 pessoas participaram do evento no auditório da universidade, próximo ao Cairo.

Entre os participantes estavam estudantes de língua japonesa e funcionários de empresas nipônicas. Eles fizeram um minuto de silêncio pelas vítimas da bomba atômica. A seguir, os estudantes discursaram sobre o assunto guerra e paz. Um homem egípcio que morou no Japão afirmou que o país asiático foi reconstruído após a 2ª Guerra Mundial através da busca pela paz. Ele lembrou que há conflitos ocorrendo em vários lugares e que um mundo pacífico deve ser alcançado.

Comentário

Hiroshima e Nagasaki na campanha em prol de um mundo livre das armas nucleares

NHK WORLD
RADIO JAPAN

As cidades de Hiroshima e Nagasaki realizaram cerimônias para marcar os 71 anos de seus bombardeios atômicos. As duas cidades foram as únicas até hoje atingidas por armas deste gênero.

No Comentário de hoje, conversamos com Tatsujiro Suzuki, diretor do Centro de Pesquisas para a Abolição das Armas Nucleares da Universidade de Nagasaki. Ele vai nos falar sobre o que é preciso para livrar o mundo da ameaça nuclear. Ele diz: "A maior diferença este ano foi que o presidente dos Estados Unidos, Barack Obama, visitou Hiroshima em maio. Ele foi o primeiro presidente americano em exercício a visitar a cidade. Desde a passagem de Obama, percebemos um aumento do interesse da parte de líderes políticos e pessoas de outros países nas cidades de Hiroshima

e Nagasaki. Acredito que visitar as cidades atingidas pelas bombas atômicas e perceber de verdade o que aconteceu debaixo da nuvem em forma de cogumelo vai, a longo prazo, fazer uma grande diferença nas políticas e ações dos líderes. Isso mesmo que eles não consigam expressar em palavras essa diferença. Os povos de Hiroshima e Nagasaki desejam que isso ajude a eventualmente fomentar medidas em prol da abolição das armas nucleares. Enquanto isso, as Nações Unidas estão discutindo a implementação de um mecanismo legal visando a proibição das armas nu-

cleares. Contudo, existem muitas dificuldades nas negociações entre os países. Infelizmente, as diferenças não se restringem somente às conversações entre potências nucleares e países não-nucleares. Nações não-nucleares como o Japão que estão protegidas por armas nucleares e outros países não-nucleares também têm suas divergências. São necessárias algumas medidas para aliviar estes confrontos a fim de evitar um aumento das diferenças. Dizem que o presidente Obama decidiu lutar por uma resolução do Conselho de Segurança da ONU em setembro que

peça a países que cessem testes nucleares. Se essa resolução realmente se concretizar, isso seria um grande passo. Os Estados Unidos também estariam considerando políticas para evitar o uso preventivo do armamento nuclear. Para mim, o Japão, enquanto único país a ter sido atacado por armas deste tipo, deveria apoiar justamente esta iniciativa. Infelizmente, o governo japonês mostra-se passivo quanto a esta questão. Acredito que o Japão tem a responsabilidade de agir como ponte entre os países nucleares e os não-nucleares, e entre os países não-nucleares protegidos por estes armamentos e outros não-nucleares que não estão protegidos. O governo japonês oficialmente declarou que vai se empenhar pela redução do papel das armas nucleares. Portanto, acho que é importante desde já tomarem-se medidas em prol de um mecanismo de defesa que não dependa das armas nucleares."

Desculpas

Americanos entregam carta de desculpas a sobrevivente de Hiroshima

Um grupo de americanos entregou uma carta de desculpas a um sobrevivente da bomba atômica que foi lançada em Hiroshima.

O grupo, que promove a eliminação das armas nucleares, fez ato público no dia 6 de agosto em Washington pela passagem dos 71 anos do ataque atômico americano à cidade japonesa, em 1945.

Cerca de 30 pessoas reuniram-se diante da Casa Branca para o ato. Toshiyuki Mimaki, sobrevivente do ataque, foi convidado a participar como representante de uma associação de vítimas da bomba atômica. Após um momento de silêncio, Mimaki, de 74 anos, falou sobre a tragédia que vivenciou pessoalmente.

Os participantes americanos leram uma mensagem com a declaração de que a pesquisa, a produção e a posse de armas nucleares é um crime contra Deus e a humanidade. Desculpam-se, então, aos sobreviventes de Hiroshima e Nagasaki pelas bombas que o seu país lançou nas cidades. O representante do grupo entregou a carta a Mi-

maki e comunicou a coleta de 555 assinaturas de simpatizantes. O sobrevivente japonês manifestou admiração e disse ter sido a primeira vez que recebe desculpas por escrito. Expressou o desejo de que o presidente dos Estados Unidos, Barack Obama, trabalhe de maneira mais ostensiva pela eliminação das armas nucleares.



Recomendado para pessoas que desejam trabalhar no Japão!

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD

TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD TV Live

*Para Android, iOS e Kindle Fire



O Fascinante México

02 noites na histórica Guadalajara, terra dos Mariachis e dos sombreros mexicanos; 03 noites na Cidade do México, com visita a Teotihuacán - um dos maiores tesouros arqueológicos do mundo - e à Basílica da Virgem de Guadalupe;

01 noite em Mérida com sua belíssima arquitetura colonial espanhola e 04 noites no badalado balneário de Playa del Carmen, na Riviera Maya.

Saídas em Setembro e Outubro de 2016

CONSULTAR VALORES

13 dias e 10 noites

TUNIBRATRAVEL
renovando e realizando suas viagens!

www.tunibra.com.br | tunibra@tunibra.com.br

INFORMAÇÕES E RESERVAS: (11) 3346-8272
Praça da Liberdade, 170 - Liberdade - SP

JAPÃO TRADICIONAL 2016

"Pacote de 17 dias"

VIA DUBAI

◆24, 25, 27 e 31/MAR
◆1, 2 e 3/ABR ◆13/MAI
◆9/SET ◆14 e 26/OUT

VIA DOHA

◆26, 28 e 29/MAR ◆01 e 08/JUL

ROTEIRO: Doha ou Dubai, Osaka, Nara, Kyoto, Hiroshima, Miyajima, Nagasaki, Kumamoto, Okayama, Hakone, Monte Fuji e Tokyo

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br

ENDEREÇO: Rua AMÉRICO DE CAMPOS, 47A - LIBERDADE - CEP.01506-010 - SÃO PAULO - SP

(11) 2187-8989 (SP)
sao@alfainter.com.br

(03) 5473-0541 (TOKYO)
info@alfainter.co.jp

Pacote Aéreo